日本デザイン学会報 | No.214 2016年7月31日

Japanese Society for the Science of Design News

発行人 松田由幸 | 編集人 田中佐代子 | 発行所 日本デザイン学会 | 東京都杉並区西荻北3-21-15 ベルフォート西荻703 | http://jssd.jp

平成28・29年度役員選挙結果

会　長	松岡　由幸

評議員選出副会長	小林　昭世
理事会選出副会長	國澤　好衛

地区理事	支部長	副支部長
第1地区	岡本　誠	柚木　泰彦
第2地区	山本　早里	山田　弘和
第3地区	滝本　成人	佐々木尚孝
第4地区	益岡　了	久保　雅義
第5地区	井上　貢一	森田　昌嗣

全国理事	五十嵐浩也	國澤　好衛
	井口　壽乃	黄　ロビン
	井上　征矢	佐藤浩一郎
	伊原　久裕	佐藤　弘喜
	内山　俊朗	須永　剛司
	尾登　誠一	田中佐代子
	柿山浩一郎	寺内　文雄
	加藤　健郎	永井由佳里
	櫛　勝彦	村上　存
	工藤　芳彰	柳澤　秀吉

監　査	山中　敏正	生田目美紀

◆役員選挙結果詳細

・会長選挙

会長選挙は、評議員投票第1回目で有効投票の過半数を得た者がいなかったため、2回目の投票を評議委員会で実施した結果、松岡由幸会員15票、小林昭世会員13票で最多数を得た松岡由幸会員が会長に選出されました。

・評議員選出副会長選挙

評議員選出副会長選挙は、評議員投票第1回目で有効投票の3分の1以上を得た者がいなかったため、2回目の投票を評議委員会で実施した結果、小林昭世会員17票、山中敏正会員7票、須永剛司会員4票で最多数を得た小林昭世会員が副会長に選出されました。

・地区理事選挙

第1地区の地区理事選挙では、岡本誠会員が支部長、柚木泰彦会員が副支部長に選出されました。

第2区の地区理事選挙では、山本早里会員が最多得票で支部長に選出されました。同数の古屋繁会員、山田弘和会員で2回目投票を行い、山田弘和会員が地区理事、副支部長に選出されました。

第3地区の地区理事選挙では、滝本成人会員が最多得票で支部長に選出されました。同数の佐々木尚孝会員、黄ロビン会員で2回目投票を行い、佐々木尚孝会員が地区理事、副支部長に選出されました。

第4地区の地区理事選挙では、益岡了会員が最多得票で支部長に選出されました。同数の奥田充一会員、久保雅義会員で2回目投票を行い、久保雅義会員が地区理事、副支部長に選出されました。

第5地区の地区理事選挙では、井上貢一会員が支部長、森田昌嗣会員が副支部長に選出されました。

・全国理事選挙

全国理事選挙は、評議員投票第1回目で、五十嵐浩也会員、井口壽乃会員、井上征矢会員、尾登誠一会員、柿山浩一郎会員、加藤健郎会員、櫛勝彦会員、工藤芳彰会員、國澤好衛会員、黄ロビン会員、佐藤浩一郎会員、佐藤弘喜会員、須永剛司会員、田中佐代子会員、永井由佳里会員、村上存会員、柳澤秀吉会員の17名が全国理事に選出されました。同数の伊原久裕会員、内山俊朗会員、寺内文雄会員、永盛祐介会員、山崎和彦会員で2回目投票を行い、伊原久裕会員、内山俊朗会員、寺内文雄会員の3名が選出されました。

・監査選挙

監査選挙では、山中敏正会員、生田目美紀会員の2名が監査に選出されました。

・理事会選出副会長選挙

理事会選出副会長選挙では、新理事会構成員投票第1回目で有効投票の過半数を得た者がいなかったため、2回目の投票を新理事会で実施した結果、國澤好衛会員13票、須永剛司会員10票で最多数を得た國澤好衛会員が理事会選出副会長に選出されました。

平成 27 年度第 3 回理事会議事録

日時■平成 27 年 6 月 12 日（金曜日）
11：30 ～ 13：00
場所■千葉大学　けやき会館
3 階　レセプションホール
出席者■山中、松岡、渡邉、池田（岳）、岡崎、岡本、工藤、國澤、國本、小林、小山、佐藤（公）、杉山、高野、田村、寺内、萩原、橋田、蓮見、平松、益岡、両角、山田、山本、小野、佐藤、八馬
委任状出席■青木（史）、池田（美）、井上、岡田、清水、生田目、古屋
欠席■五十嵐、久保、細谷、村上
名誉会員■上原、加藤、君島、渋谷、杉山、竹原、永田、野口、宮崎（紀）、水野、三橋

1. 会長挨拶
山中会長より挨拶がなされた。

2. 名誉会員挨拶
参加された名誉会員より、近況報告、学会に対するご意見などを含んだご挨拶がなされた。

3. 平成 27 年度第 2 回理事会議事録の承認（小野本部事務局長）
平成 27 年度第 2 回理事会の議事録案が示され、原案通り承認された。

【審議事項】

4. 平成 27 年度秋季企画大会について（山田大会実行副委員長（代）山中会長）
山田大会実行副委員長の代理で山中会長より、秋季企画大会について、11 月 21 日東京藝術大学にて開催することと、また基調講演を尾登先生にお願いすること、その他概要について説明がなされ、承認がなされた。

5. 平成 28 年度春季研究発表大会について（山中会長）
山中会長より、平成 28 年度春季研究発表大会について、現在開催地の選考について難航しているとの説明がなされ、引き続き開催地について検討することとした。

6. 法人化について（國澤法人化特別委員長、山中会長）
國澤法人化特別委員長、山中会長より、法人化のメリット、デメリットについて説明がなされ、承認がなされた。

7. 選挙管理委員長の選出について（小野本部事務局長）
小野本部事務局長より、選挙管理委員長として拓殖大学の永見先生にお願いしたいとの説明がなされ、承認がなされた。

8. 学会誌編集・出版委員の変更
岡崎学会誌編集・出版委員長より、工藤委員が本年度サバティカルのため業務に携われないため、現在幹事である大島直樹先生を特設理事として、学会誌編集・出版委員として任用したいとの提案がなされ、審議の後、承認がなされた。

9. 会員出版物の書評について（松岡副会長）
松岡副会長より、会員の方が出版された出版物について、学会として書評を寄稿することについて説明がなされた。具体的には現在、勝浦先生が出版された「人間科学の百科事典」について書評の依頼がきているとの説明がなされた。審議の後、どのような形で寄稿するかについて、蓮見市販図書企画・編集委員長、岡本広報委員長と協議を進め、積極的に取り組むことで承認がなされた。

10. 美術教育について（小林藝術学関連学会連合担当）
小林担当より、美術系教育連絡協議会より、「初等、中等教育の美術の時間の削減」について、中央教育審議会に対してデザイン学会独自に、削減反対の要望書を提出して欲しいとの依頼があったとの説明がなされた。杉山理事より、過去の事例として、土木学会長や建築学会長より「工学面においても必要」という内容の文面を一筆もらったことがあるとの紹介がされた。
審議の後、対応方法を検討しつつ、要望書を提出することで承認された。

11. 会員の移動について（小野本部事務局長）
事務局に提出された書類を回覧・審議した結果、
入会：正会員 5 名、学生会員 3 名（内外国 1 人）
退会：正会員 2 名、学生会員 1 名
が承認された。

【報告事項】

12. 学会誌の電子化、及び特集号の進捗状況について（岡崎編集・出版委員長）
岡崎編集・出版委員長より、配付資料に基づき、学会誌の電子化について報告がなされた。

13. 会報の進捗状況ついて（山田学会誌編集・出版委員会報担当）
山田学会誌編集・出版委員より、配付資料に基づき、会報の進捗状況について報告がなされた。

14. オーガナイズドセッションについて（松岡企画委員長）
松岡企画委員長より、配付資料に基づき、春季大会におけるオーガナイズドセッションの予算について報告された。

15. 第一支部大会について（両角第一支部長）
両角第一支部長より、配付資料に基づき、第一支部大会についての報告がなされた。

16. グッドプレゼンテーション賞について（小山論文審査委員）
小山論文審査委員より、グッドプレゼンテーション賞について、選考委員、投票に関する協力依頼がなされた。

（記録：小野）

平成 27 年度第 4 回理事会議事録

日時■平成 27 年 9 月 19 日（土曜日）
15：00 ～ 18：00
場所■拓殖大学　文京キャンパス（茗荷谷）
A 館 1 階ミーティングルーム 3
出席者■山中、松岡、岡崎、小林、生田目、平松、山田、禹、佐藤（弘）
委任状出席■岡本、國澤、久保、小野、八馬
欠席■渡邉、五十嵐、古屋

1. 会長挨拶
山中会長より挨拶がなされた。

2. 平成 27 年度第 3 回理事会議事録の承認
平成 27 年度第 3 回理事会の議事録案が示され、原案通り承認された。

【審議事項】

3. 平成 27 年度秋季企画大会について（山田大会実行副委員長）
山田大会実行副委員長より、11 月 21 日東京藝術大学にて開催する秋季企画大会について、テーマ「デザイン・レガシーの時代」の説明、スケジュール、参加費、プログラムについて説明がなされた。
今回、企画を担当された環境デザイン部会の配布資料における記載方法について議論がなされ、運営体制の部分に、“企画：環境デザイン部会”として記載することとした。
また開催校の学生の参加費について審議がなされ、一般の学生参加者と区別できるよう配慮した上、開催校の判断で、参加費を無料とすることも可能であることとした。

4. 平成 27 年度秋季大会学生プロポジションについて（渡邉研究推進委員長（代）平松委員）
渡邉研究推進委員長の代理として、平松委員より、学生プロポジションについて、応募方法、会場、スケジュールについて説明がなされ、承認がなされた。また学生プロポジションの担当について議論がなされ、研究推進員会は窓口であり、内容については大会実行委員会が中心となり決めていくことで確認がなされた。

5. 平成 27 年度学会各賞選考委員会報告（松岡担当理事）
青木学会各賞選考委員長より提出された平成 27 年度学会各賞選考委員会報告について、松岡担当理事より説明がなされ、功労賞 4 件について承認がなされた。

6. 平成 28 年度春季研究発表大会について（禹大会実行委員長）
禹大会実行委員長より、開催日（7 月 1 ～ 3 日を予定）、テーマ「ふるさととデザイン（案）」、会場（初日：上田市交流文化芸術センター（1,600 人収容））、エクスカーション案について説明がなされ、承認がなされた。
また現在、特別講演の講演者を検討中であり、適任者がいる場合は、ぜひ推薦頂きたいとの依頼がなされた。

7. 法人化について（國澤法人化特別委員長（代）山中会長）
國澤法人化特別委員長の代理として、山中会長より、法人化のスケジュール案について説明がなされ、承認がなされた。
会則には、解散するためには会員の 3/4 以上の議決が必要と記載されおり、そのための対策が必要であるとの意見がなされ、次回理事会前に、拡大委員会を開催し、引き続き審議することとした。

8. 選挙管理委員会委員について（佐藤本部副事務局長）
佐藤本部副事務局長より、会則に従い、前回の理事会で承認された永見選挙管理委員長を特設理事とする必要があるとの説明がなされ、審議の後、承認がなされた。
4 名の選挙管理委員については、至急決定し、次回理事会で報告することとした。

11. 被災者の会費の免除について（山中会長）
山中会長より、天災などで被災された会員に対する会費免除

について説明がなされ、審議の後、制度化する必要があるため、法人化のタイミングに合わせ、新しい会則の中に明記する方向で検討することとした。

12. 終身会員について会費の免除について（山中会長）
山中会長より、終身会員の承認プロセスについて説明がなされ、審議の後、新しい会則を作る作業の中で検討することとした。

13. 会員の移動について（佐藤本部副事務局長）
事務局に提出された書類を回覧・審議した結果、
入会：正会員 26 名（内外国 3 人）、学生会員 3 名（内外国 1 人）
退会：正会員 4 名、学生会員 6 名
が承認された。

【報告事項】

14. IASDR の理事会について（山中担当）
5 月に開催された IASDR の理事会で、DRS とアジアの学会での隔年開催のルールを無くし、2017 年はシンシナティ大学で開催することに決定したとの報告がなされた。

15. デザイン理論・方法論部会活動報告（松岡主査）
松岡主査より、7 月に開催されたデザイン理論・方法論部会の活動について報告がなされた。

16. 文部科学大臣への要望書について（小林理事）
小林担当理事より、7 月に文部科学大臣、中央教育審議会会長、初等中等教育分科会教育課程部会長宛に、初等中教育における図画工作・美術教育の時間数削減に対して、文面をメールで審議した後、要望書を提出したとの報告がなされた。

17. 学会誌編集・出版状況について（岡崎学会誌編集・出版委員会）
岡崎学会誌編集・出版委員長より進捗状況について報告がなされた。また特集号の市販図書化については、出版会社との調整が必要のため、次回理事会までに拡大委員会を開催し、引き続き審議することとした。

18. 作品審査状況について（小林作品審査委員長）
小林作品審査委員長より、作品審査状況について、投稿が 23 件あったこと、また今後のスケジュールについて報告がなされた。

（記録：小野）

平成 27 年度第 5 回理事会議事録

日時■平成 27 年 11 月 21 日（土曜日）
12：00 ～ 13：00
場所■東京藝術大学
出席者■山中、松岡、青木、池田（美）、禹、大島、岡崎、清水、小林、小山、高野、橋田、平松、小野、佐藤、八馬
委任状出席■渡邉、池田（岳）、井上、岡田、久保、田村、寺内、生田目、蓮見、古屋、益岡、両角、山本
欠席■五十嵐、岡本、國澤、國本、杉山、萩原、細谷、村上、山田
名誉会員■加藤、君島、黒川、車、清水、平、中嶋、長谷、野口、降旗、水野、和田

1. 会長挨拶
山中会長より挨拶がなされた。

2. 名誉会員挨拶
参加された名誉会員より、近況報告を含めご挨拶がなされた。

3. 平成 27 年度第 4 回理事会議事録の承認
平成 27 年度第 4 回理事会の議事録案が示され、原案通り承認された。

【審議事項】

4. 平成 28 年度春季研究発表大会について（禹大会実行委員長）
禹大会実行委員長より、長野大学で開催される第 63 回春季研究発表大会の開催施設、日程、参加費、エクスカーションなどの計画概要が説明され、承認された。

5. 特集号の次年度対応について（岡崎編集・出版委員長）
岡崎編集・出版委員長および大島委員より、配付資料に基づき、次年度以降の完全電子化に伴う特集号の取り扱いについて、委員会での議論の内容が紹介されるとともに、ワーキンググループを設置して 1 年間かけて詳細を取りまとめることが説明され、承認された。また、本年度の進捗状況も説明され、承認された。

6. 法人化について（小野法人化特別委員）
國澤法人化特別委員長の代理として小野法人化特別委員より、法人化移行の作業フローとそれに伴う問題点が説明された。それに関する理事の協力が求められ、承認された。その中

で、移行およびその後の会計などの運営に関して、専門家のサポートを得ることについて、承認された。

7. 年間購読会員年会費について（生田目財務委員長（代）山中会長）

生田目財務委員長の代理として山中会長より、学会誌の電子化に伴うオンデマンド印刷サービスの試算が示され、当面の学会誌のありようについて概要が説明された。小林理事より、年間購読会員の会費の考え方について質問があり、山中会長より財務状況のバランスを見ながら計画を立てていくことが説明された。また、松岡副会長より、賛助会員のメリットも検討するよう要請があった。

8. Design シンポジウムのワーキングメンバーについて（松岡 Design シンポジウム担当）

松岡 Design シンポジウム担当より、2016 年度、日本機械学会が幹事学会として大阪大学で開催される Design シンポジウムのワーキングメンバーについて説明がなされた。昨年度に引き続き、委員として、松岡理事、小林理事、永井会員、若手ワーキングとして小野理事の参加が提案され、審議の後、承認された。

9. 会員の移動について（八馬本部副事務局長）

事務局に提出された書類を回覧・審議した結果、

入会：正会員 8 名（内外国 2 人）、学生会員 2 名（内外国 1 人）

退会：正会員 10 名（内外国 1 人）、学生会員 12 名（内外国 2 人）

が承認された。

【報告事項】

10. IASDR2015 報告・理事会報告（山中担当理事）

山中担当理事より、配付資料に基づき、ブリスベンで開催された IASDR2015 および同時に開催された IASDR 理事会の報告がなされた。2017 年の IASDR は、アメリカのシンシナティで行うことが決定されたとの報告がなされた。

11. 論文審査状況と J-Stage 論文アクセス状況（小山論文審査委員）

小山論文審査委員より、配付資料に基づき、論文審査状況と J-Stage 論文アクセス状況が報告された。

12. 第一支部大会報告について（両角第一支部長（代）小野本部事務局長）

両角第一支部長代理小野本部事務局長より、配付資料に基づき、第一支部大会報告について報告された。

（記録：小野）

平成 27 年度第 6 回理事会議事録

日時■平成 27 年 12 月 19 日（土曜日）
14：00 ～ 17：00

場所■東京藝術大学　上野美術学部キャンパス
中央棟第 2 講義室

出席者■山中、松岡、渡邉、池田（岳）、大島、清水、國澤、國本、小林、小山、寺内、生田目、橋田、蓮見、平松、益岡、両角、山田、山本、小野

委任状出席■五十嵐、池田（美）、井上、岡田、岡本、杉山、久保、田村、高野、萩原、古屋、佐藤、八馬

欠席■青木（史）、岡崎、村上、細谷

1. 会長挨拶

山中会長より挨拶がなされた。

2. 平成 27 年度第 5 回理事会議事録の承認

平成 27 年度第 5 回理事会の議事録案が示され、原案通り承認された。

【審議事項】

3. 平成 28 年度春季研究発表大会オーガナイズドセッションについて（松岡企画委員長）

松岡企画委員長より、平成 28 年度春季研究発表大会のオーガナイズドセッションについて、昨年度同様、 4 件のうち 2 件を理事会提案とし、残り 2 件を会員公募としたいとの意見がなされた。具体的に、理事会提案として、一つは山中会長をオーガナイザーとして、学会の歴史を振り返り、未来を考える内容の OS、もう一つは、主催校がオーガナイズする、農業デザイン、農業デザイナーに関する OS を考えているとの説明がなされた。

國本理事より、農業は政策の影響を多分に受けるため、行政からパネリストを呼んで頂きたいとの意見がなされた。また、蓮見理事より、まち・ひと・しごと創生総合戦略と絡めると上田市も積極的に関われるのではないか、玉村豊男氏が上田市でワイナリーをされており、パネリストとして可能性があるのではとの意見がなされた。審議の後、開催校の意向を聞いて、決定することとした。

4. 法人化について（國澤法人化対策特別委員長）

國澤法人化特別委員より法人化に向けた作業の進捗について、主にスケジュール、審議のポイントなどについて説明がなされ、審議の後、承認がなされた。山中会長より、次回の理事会から随時定款を確認していきたいとの意見がなされた。

5. 評議員会について（山中会長）

山中会長より、評議員会の日程、場所について案が示され、審議の後、2 月 13 日（土）拓殖大学文京キャンパスで開催することとした。

6. 春季研究発表大会概要集編集委員会 H28 年度予算要求について（田村概要集編集委員長（代）小野本部事務局長）

田村概要集編集委員長の代理で小野本部事務局長より、平成 28 年度春季研究発表大会のシステム利用に係る予算要求について説明がなされ、審議後、承認がなされた。

7. 会員の移動について（小野本部事務局長）

事務局に提出された書類を回覧・審議した結果、

入会：正会員 2 名

休会：正会員 1 名

退会：正会員 5 名、学生会員 1 名

が承認された。

【報告事項】

8. 評議員選挙（中間）報告（大島選挙管理委員）

大島選挙管理委員より、評議員選挙の結果について報告がなされた。

9. 平成 27 年度秋季企画大会報告について（清水大会実行委員長）

清水大会実行委員長より、平成 27 年度秋季企画大会の会計報告がなされた。

山中会長より、今後は、秋季大会でも研究発表ができるようにするなど、秋季大会の位置づけについて今後見直していく必要があるとの意見がなされた。

大島学会誌編集・出版委員会幹事より、現在、新特集号の方向性の一つとして、「学術活動を公にする」という事が検討されており、グッドプレゼンテーション賞、学生プロポジションの結果を特集号に掲載するなど様々な可能性があるのではとの意見がなされた。

10. 藝術学関連学会連合について（小林担当理事）

小林担当理事より、1 週間前に開催された会議に関して、来年度の藝関連のシンポジウムのテーマを「仮）芸術における新しさの表現、あるいはニュース性」とすること、6 月第 1、2 週に学習院大学で開催する予定であるとの報告がなされた。

11. 作品審査進捗報告について（小林作品審査委員長）

小林作品審査委員長より、作品審査の進捗状況について、12 月 10 日入稿し、2 月上旬の刊行を予定しているとの報告がなされた。

審査について、24 件の応募があり、審査の結果 11 件に絞った（採択率 46%）との報告があり、例年より低い採択率になった理由は、イベントを対象とする投稿が増加したが、その多くはプロセスおよび感想の記述に留まっており、学術的貢献に帰するような内容に達していないという判断のためとの説明がなされた。

小林作品審査委員長より、来年度からは電子化のみの刊行となるため、掲載料、掲載フォーマットについて審議が必要であり、第 7、8 回の理事会で審議を進めて行きたいとの意向が示された。

12. 第 3 支部研究発表大会について（國本第 3 支部長）

國本第 3 支部長より、3 月 19 日（土）、名古屋市立大学医学部および病院で開催される第 11 回第 3 支部研究発表大会について告知がなされた。

13. 第 4 支部研究発表会（益岡第 4 支部長）

益岡第 4 支部長より、支部内の交流を活発化するため、現在、4 大学持ち回りのポートフォリオ学生交流会を企画しており、12 月 25 日キックオフを京都工芸繊維大学で開催予定、また同日第 4 支部インタラクション研究会を開催予定であるとの報告がなされた。また第 4 支部研究発表大会を 2 月 27 日岡山県立大学にて開催予定であるとの報告がなされた。

14. 水野雅生名誉会員から学会誌の寄贈について（平松理事）

平松理事より、水野名誉会員より会報の 1 号、2 号について寄贈の申し出があったとの報告がなされ、事務局にてコピーをとって保管することとした。

15. 論文審査状況報告（小山論文審査委員）

小山論文審査委員より、論文審査状況について報告がなされた。山中会長より、来年度より完全電子化に移行するが、電子化についての告知、および、閲覧制限について検討して欲しいとの依頼がなされた。また、引用件数の確認方法についても次回理事会で説明して欲しいとの依頼がなされた。

16. 会報について（山田理事）

山田理事より、1月末締切りで、会報記事の募集を行う予定であるとの告知がなされた。また寺名誉会員の追悼記事については、國本理事に依頼することとした。

17. 2017年度の春季研究発表大会（山中会長）

山中会長より、2018年度春季研究発表大会は大阪工業大学での開催を検討しているとの報告がなされた。2016年度秋季企画大会、2017年度春季研究発表大会については、開催地が未定であるため、今後、企画委員会を中心に検討を進めて行きたいとの意向が示された。

（記録：小野）

平成27年度第7回理事会議事録

日時■平成28年2月13日（土曜日）
10：00～12：00
場所■拓殖大学　文京キャンパス（茗荷谷）
C館407教室
出席者■山中、松岡、渡邉、池田（岳）、井上、大島、岡崎、岡田、國本、久保、小林、高野、寺内、生田目、平松、益岡、山田、禹、小野、佐藤
委任状出席■青木（史）、池田（美）、清水、國澤、杉山、田村、両角、山本
欠席■五十嵐、岡本、小山、橋田、萩原、蓮見、古屋、細谷、村上、八馬

1. 会長挨拶

山中会長より挨拶がなされた。

2. 平成27年度第6回理事会議事録の承認

平成27年度第6回理事会の議事録案が示され、原案通り承認された。

【審議事項】

3. 平成28年度春季大会について（禹大会実行委員長）

禹大会実行委員長より、平成28年度春季研究発表大会について、テーマ「「ふるさと」と「デザイン」」、実行委員、エクスカーション、参加費などについて説明がなされた。

山中会長より、エクスカーションの時間が総会と重なっているため見直して欲しいとの要望がなされた。また小野本部事務局長より、平成28年度の総会は、法人化のための解散決議をとる必要があるため、できるだけ多くの会員が参加できるようスケジュールを考慮頂きたいとの要望がなされ、総会、エクスカーションのスケジュールについては引き続き審議することとした。

4. 平成28年度春季研究発表大会OSについて（松岡企画委員長）

松岡理事から、平成28年度春季研究発表大会のオーガナイズドセッションの候補案として、理事会提案2件、会員からの応募4件について説明がなされた。

特別講演として開催すべきテーマも含まれるため、また他のテーマと統合できるものもあるため、優先順位を決定し、具体的な採択については企画委員会と大会実行委員とで相談の上、決定することとした。

國本理事より、テーマ案「デザイン保護法制の現状と課題」については、弁理士協会、特許庁意匠課など、運用側の方も入れて頂きたいとの意見がなされた。

5. 法人化について（小野法人化対策特別委員）

小野法人化対策特別委員より、法人化の準備状況について説明がなされた。今後のスケジュールとして3月15日に岡部公認会計士に事務所にて会則、経理書類をご確認頂き、2月下旬、もしくは3月上旬に定款案を作成する予定であるとの説明がなされ、承認がなされた。

6. 新形態の特集号について（仮）について（岡崎学会誌編集・出版委員長）

岡崎学会誌編集・出版委員長より、来年度よりスタートする新特集号の内容について説明がなされた。確実な定期刊行が最優先事項であり、そのため毎年開催される春季研究発表大会のテーマセッションから2件を選び、それを特集号としてまとめるのが、現実的であるのではとの提案がなされ、審議の後、承認がなされた。

山中会長より、論文の書誌情報、会報を載せる必要があるかについて、委員会で検討頂きたいと要望がなされた。

7. 2016年度作品集投稿規定の変更と募集案内について（小林作品審査委員長）

小林作品審査委員長より、現在の作品集の進捗状況について、2月1日付で入稿を済ませたこと、また今回、採択率が低い結果（応募24件、採択9件）となった理由として、ワークショップに関する投稿が多く、またその多くが報告に留まっており、採択にいたらなかったためであるとの報告がなされた。また2016年度の応募について、スケジュール、投稿レイアウ

ト、審査通信費、掲載料について案が示された。審議の結果、スケジュール、投稿レイアウトについて現状通りとし、審査通信費、掲載費については、基本方針は、論文集との統一を図る方向で進めること、さらに審査通信費については、論文集、作品集ともに審査コストは学会が負担すると考え、無料にする方向でさらに検討をすることとした。

8. テーマセッションについて（松岡副会長）
松岡副会長より、平成 28 年度春季研究発表大会のテーマセッションの募集の準備状況について確認がなされた。審議の結果、研究推進委員で至急対応することとした。

9. 会員の移動について（佐藤本部副事務局長）
事務局に提出された書類を回覧・審議した結果、
入会：正会員 7 名（内外国人 2 名）、学生会員 10 名（内外国人 7 名）
退会：正会員 13 名、年間購読：1 件
が承認された。

【報告事項】

10. 特集号の進捗について（岡崎編集・出版委員長）
岡崎編集・出版委員長より、配布資料に従い現在の編集・出版状況について報告がなされた。

11. 学生会員の移行について（生田目財務委員長）
生田目財務委員長より、学生会員制度について報告がなされた。具体的には、学生会員数は常時 370 ～ 380 名で安定しており、毎年約 110 名程度の入会があり、その内 1/3 が退会、1/3 が継続、1/3 が強制退会、もしくは住所不明、正会員への移行は僅かであり、学生会員制度自体は財務的には機能しているが、強制退会および住所不明者への事務手続きに手間と費用が多くかかっており、改善が必要であるとの報告がなされた。

12. 論文審査状況と J-Stage 論文アクセス状況（久保論文審査委員長）
久保論文審査委員長より、配布資料に従い論文審査状況およびに J-Stage 論文アクセス状況について報告がなされた。英文論文の投稿が少ないため、ご協力頂きたいとの依頼がなされた。

13. 藝術学関連学会連合について（小林担当理事）
小林担当理事より、1 月 17 日に会員全員にメールで告知された 2016 年 6 月 11 日（土）に開催される藝術学関連学会連合シンポジウムのパネルディスカッションのパネリスト募集について告知がなされた。

14. デザイン理論・方法論研究部会報告（松岡研究部会主査）
松岡デザイン理論・方法論研究部会主査より、1 月 11 日に横浜のマツダの R&D センターで開催された部会活動について報告がなされた。

15. デザイン学研究 No.1、No.2 の寄贈について（山田理事）
山田理事より、水野雅生名誉会員より、デザイン学研究 No.1、No.2 の寄贈の申し出を頂いたとの報告がなされた。

16. メディカルデザインフォーラム＆ワークショップ 2016（國本第三支部長）
國本第三支部長より、3 月 21 日に開催される第三支部研究発表大会について告知がなされた。

（記録：小野）

平成 27 年度第 8 回理事会議事録

日時■平成 28 年 3 月 19 日（土曜日）
14：00 ～ 17：00
場所■拓殖大学　文京キャンパス（茗荷谷）
C 館 515 教室
出席者■山中、松岡、岡崎、久保（光）、小林、田村、生田目、小野、佐藤（弘）、佐藤（浩）
委任状出席■岡本、國澤、八馬
欠席■五十嵐、古屋、渡邉、山田

1. 会長挨拶
山中会長より挨拶がなされた。

2. 平成 27 年度第 7 回理事会議事録の承認
平成 27 年度第 7 回理事会の議事録が示され、原案通り承認された。

【審議事項】

3. 平成 28 年度春季大会について（禹大会実行委員長（代）松岡企画委員長）
松岡企画委員長より、平成 28 年度春季研究発表大会の準備状況について報告がなされた。基調講演は京都大学総長の山極壽一先生にお願いする方向で準備を進めているとの説明がなされた。山中会長より、総会の日程など、通常と異なる曜日に実施されるイベントについてはポスターにて強調していただきたいとの要望がなされた。また、口頭発表の申し込みについて、

3 月中に 2 回のメールによるリマインダを会員に向け送付するとともに、締切日を 1 週間延ばすことが承認された。

4. 平成 28 年度秋季企画大会について（松岡企画委員長）

松岡企画委員長ならびに小林理事より、平成 28 年度秋季企画大会の日程や会場に関する検討事項が報告された。開催校は武蔵野美術大学となり、10 月 1 日（土）の日程で会場は新宿サテライト 9 階を予定しているとの説明がなされた。また、デザイン学会と関連の深い学会（意匠学会、芸術工学会、道具学会など）との共催を検討しているとの説明がなされた。

5. 平成 29 年度春季大会について（松岡企画委員長）

松岡企画委員長より、平成 29 年度春季研究発表大会の開催校や日程について報告がなされた。開催校は拓殖大学とし、会場は茗荷谷キャンパスで実施されるとの説明がなされた。また、日程については、総会を 6 月中に実施する必要性から 6 月開催を予定しているとの説明がなされた。

6. 平成 28 年度各賞選考委員会の発足と委員について（松岡担当理事）

松岡担当理事より、平成 28 年度各賞選考委員会の発足と委員について報告がなされた。10 月 1 日（土）開催予定の秋季企画大会の日程が早いことから、論文集発刊後の 4 月上旬に委員会の発足と公募を実施するとの説明がなされた。また、公募の締め切りを 6 月末、審査完了を 7 月末、9 月 10 日（土）の理事会にて承認を得る日程で進めるとの説明がなされ、承認された。委員については、委員長は青木弘行名誉会員とし、定例メンバーに加えて、前年度の論文審査委員長も参画していただくとともに、山中会長にも参画していただきたいとの説明がなされ、承認された。

7. 名誉会員の決定について（山中会長）

山中会長より資料 2 に基づいて説明がなされた。名誉会員の候補として、石川善美先生、佐藤優先生、源田悦夫先生、および山内勉先生が選出された。石川先生ならびに山内先生へのお伺いは山中会長が、佐藤先生と源田先生へのお伺いは田村理事が行うこととなった。

8. 法人化について（小野法人化特別委員）

小野法人化特別委員より、資料 3 に基づいて法人化に向けたスケジュール、組織、会計、定款、規定などについて説明がなされた。法人化後は、支部と研究部会の位置づけが変更になることから（支部は法人内、研究部会は法人外）、支部長と主査に対して名義の使用や会計方法について説明が必要との意見がなされた。また、7 月の総会において任意団体としての日本デザイン学会の解散の承認が必要となるが、そのための手続きを具体化することが必要との意見がなされた。

9. デザイン学研究掲載料について（久保（光）論文審査委員長）

久保（光）論文審査委員長より、論文集電子化に伴う新たな論文掲載料について説明がなされた。他学会の状況や学会としての収支バランスを考慮して、論文集と作品集ともに 1 本あたりの掲載料として一律 4 万円とし、承認された。また、新料金は 2016 年 4 月 1 日以降に投稿された論文に適用されることとし、今年度中に投稿された論文については別刷りをお渡しすることが承認された。料金改定について、早急に会員に向けて告知する必要があることから、Web 上にて料金改定について告知することとなった。

10. 学生プロポについて（研究推進委員会（代）小野本部事務局長）

学生プロポジションの参加記録に関する問い合わせについて報告がなされた。現状では学生プロポジションへの参加記録は学会として残していないことから、奨学金申請や研究実績の記載時に証明できないため、証明書発行などの対応策を検討する必要があると説明がなされた。プログラムへの参加者氏名の記載や参加者リストを作成するといった方法が議論されたが、対応策の決定については時次期の理事会への申し送り事項となった。

11. J-stage のパスワードの解除について（山中会長）

山中会長より、J-stage のパスワードの解除について説明がなされた。多くの研究者にデザイン学研究を閲覧してもらうことが論文の価値向上に繋がるという考えから、J-stage のパスワードを 2016 年 3 月 31 日に解除することが承認された。

12. 事務局の論文集の在庫処理について（松岡副会長）

松岡副会長より、事務局の論文集の在庫処理について説明がなされた。各論文集の在庫について、完全保管 2 冊分と棚置き保管分 5 冊の計 7 冊以外を処分することが承認された。

13. 会員向けアーカイブ冊子について（岡崎編集・出版委員長）

岡崎編集・出版委員長より、年 2 回発行予定の会員向けアーカイブ冊子について報告がなされた。平成 28 年度春季研究発表大会のオーガナイズドセッションを内容とした目次案が示された。具体的なタイムスケジュールについては、次期委員会への申し送り事項となった。

14. 会員の移動について（佐藤（弘）本部副事務局長）
事務局に提出された書類を回覧・審議した結果、
入会：正会員 10 名、学生会員 6 名（内外国人 4 名）
退会：正会員 21 名（内外国人 1 名）、賛助会員 1 件
が承認された。

【報告事項】

15. 平成 27 年度春季大会報告（佐藤（公）大会実行委員長（代）小野大会実行副委員長）
小野大会実行委員会会計担当より、平成 27 年度春季研究発表大会の収支報告がなされ、承認された。

16. 論文審査状況（久保（光）論文審査委員長）
久保（光）論文審査委員長より、論文審査状況の報告がなされた。論文の投稿数は昨年度と比較して 28 本減少しており、この背後にある原因を考える必要があるとの意見がなされた。

17. 学会ホームページについて（広報委員会（代）小野本部事務局長）
小野本部事務局長より、学会ホームページに関する広報委員会からの要望について説明がなされた。ホームページの利用状況を把握したいこと、ホームページ宣伝用の紙パンフレット作成については次期委員会へ申し送りとしたいとの説明がなされた。

（記録：佐藤（浩））

平成 28 年度第 1 回理事会議事録

日時■平成 28 年 4 月 9 日（土曜日）
14：00 ～ 17：00
場所■拓殖大学　文京キャンパス（茗荷谷）
E 館 803 教室
出席者■松岡、小林、井口、井上（征）、井上（貢）、伊原、内山、大島、岡崎、岡本、尾登、加藤、國澤、久保（雅）、久保（光）、黄、佐々木、須永、滝本、田中、田村、寺内、永井、益岡、村上、柳澤、山田、山中、山本、禹、佐藤（弘）、小野、佐藤（浩）
委任状出席■柿山、清水、櫛、森田、生田目、柚木
欠席■五十嵐、工藤

1. 会長挨拶
松岡会長より挨拶がなされた。

2. 平成 27 年度第 8 回理事会議事録の承認
平成 27 年度第 8 回理事会の議事録が示され、「審議事項 3」における軽微な修正を除き、原案通り承認された。

【審議事項】

3. 理事会選出副会長選挙（永見選挙管理委員長）
副会長として、國澤好衛理事が選出された。

4. 平成 28 － 29 年度学会組織について（松岡会長）
松岡会長より、平成 28 － 29 年度学会組織について説明がなされた。主に、法人化委員は前年度の委員に継続でお願いすること、魅力向上委員会を設置することが提案され、承認された。また、法人化に伴う業務の増加を鑑みて、特設理事 6 名の委任が提案され、承認された。なお、各委員会の委員長は、幹事を 4 月末までに事務局へ連絡することとなった。

5. 平成 28 年度学会活動方針ならびに魅力向上について（松岡会長）
松岡企画委員長より、平成 28 年度学会活動方針について説明がなされた。法人化を含む「体制基盤の構築」と、魅力向上のための「学術基盤の構築」「活性化策の推進」「社会貢献の強化」に注目した活動方針についての概説がなされた。

6. 法人化について（國澤法人化特別委員長、岡部公認会計士）
國澤法人化特別委員長、岡部公認会計士より、法人化についての説明がなされた。以下の 3 つの事項について承認を得た。
・会則の変更に関する承認
現在の学会解散要件である「構成員の 4 分の 3 以上の議決」を総会において達成することが現実的に難しいことから、要件を「出席正会員の 3 分の 2 以上の議決」へ変更して法人に移行する旨が説明され、承認された。

・一般社団法人の定款案及び法人化の概要に関する承認
一般社団法人の定款案及び法人化の概要の説明がなされた。定款案は、法律にかかわる部分以外は今までの学会のやり方や枠組みを踏襲して作成したとの説明がなされ、法人化の概要、「支部は法人の中」「研究部会は法人の外」という枠組み、終身名誉会員と顧問の廃止、および今後の法人化手続きに発生する変更は法人化委員会に一任することを含め、承認を得た。また、定款案の軽微な修正として、業務執行理事の定義を「副会長・特設理事・支部部長・副支部長」から「副会長」とすることとなった。なお、法人の外となる研究部会の会計処理（源泉徴収含む）に関するマニュアルを準備する必要性が意見として挙がった。また、法人化後の各支部および研究部会の運営方法

については、法律的な規定以外の細則等は今後議論していく必要があるとの意見が挙がった。

・任意団体の解散及び残余財産の処分に関する承認

平成 29 年 3 月 31 日における日本デザイン学会解散後、一般社団法人日本デザイン学会にすべての会員、評議員、権利義務を引き継ぎ、残余財産を寄付するという方針が承認された。加えて、平成 29 年 3 月 31 日に何らかの理由で解散できなかった場合には、平成 29 年 3 月 31 日時点で解散せず、存続することという方針も合わせて承認された。

今後は、平成 28 年 7 月 1 日法人化を目指して、修正された定款案を会員に告知をし、意見をいただくこととなった。

7. 平成 28 年度学会運営スケジュールについて（小野本部副事務局長）

小野本部副事務局長より、平成 28 年度学会運営スケジュールについて説明がなされた。主に、運営・拡大理事会の日程確認がなされ、7 月の理事会日程を 1 日から 2 日に修正すること、記念講演を消去することが修正事項として挙げられた。その他の日程については原案通り承認された。

8. 総会式次第について（佐藤（弘）本部事務局長）

佐藤（弘）本部事務局長より、平成 28 年度総会式次第案について説明がなされた。次第の内容については原案通り承認された。総会の開催時間は、7 月 2 日（土）13 時から 14 時 30 分までとし、原案通り承認された。なお、4 月末までに、各委員会長、各支部長、各担当、および研究部会主査は事業報告と計画を本部事務局までに提出することとなった。また、総会当日の報告者については、事務局で案を決めて審議することとなった。

9. 平成 28 年度春季大会について（禹大会実行委員長）

禹大会実行委員長より、平成 28 年度春季大会の概要、スケジュール、およびエクスカーションについて説明がなされた。スケジュールについて、オーガナイズドセッションは 2 日と 3 日に行うことが確認された。1 日の特別講演は山中監査にお願いするとともに、基調講演の登壇者は引き続き検討することとなった。なお、大会開催時期は他のイベントも重なるため、宿泊先を早めに確保していただきたいとのお願いもなされた。

10. 名誉会員推挙について（松岡会長）

田村特設理事より、名誉会員推挙に関する進捗状況が報告された。佐藤優先生、源田悦夫先生ともに　名誉会員としての推薦を辞退されるとの報告がなされた。また、石川善美先生と山内勉先生については山中監査が引き続き、お伺いすることとなった。

11. 平成 28 年度秋季企画大会について（小林大会実行委員）

小林大会実行委員長より、平成 28 年度秋季企画大会について検討事項の説明がなされた。具体的には、開催場所（武蔵野美術大学新宿教室）、当日のスケジュール（午前中に学生プロポジション、午後にパネルディスカッションなど）案が提案され、引き続き検討していくこととなった。

12. 作品審査委員会スケジュールについて（小林前作品審査委員長）

小林前作品審査委員長より、作品審査委員会スケジュールについて提案がなされた。前年にならい、「8/30 締切り、10/1 審査結果、10/ 後半作品論文修正期間締切り、11/30 再審査結果、12/20 制作、入稿、入稿後正文社で著者校正、書式画像等最終チェック、タグ付け、1 月末アップロード」のスケジュールが示され、承認された。

13. 会員の移動について（佐藤（浩）本部副事務局長）

事務局に提出された書類を回覧・審議した結果、

入会：正会員 18 名（内外国人 2 名）、学生会員 22 名（内外国人 6 名）

休会：正会員 2 名

退会：正会員 13 名、学生会員 6 名

が承認された。

14. 事務局員の賞与増額について（松岡会長）

松岡会長より、事務局員の賞与増額に関する提案がなされた。法人化に伴う業務増加を鑑みて、賞与を増額することが提案され、承認された。

【報告事項】

15. 平成 28 年度春季研究発表大会概要集の編集状況について（田村前概要集編集委員長）

田村前概要集編集委員長より、4 月 9 日時点で口頭発表 168 件、ポスター発表 105 件との報告がなされた。また、平成 28 年度分の概要集編集については、平成 27 年度の委員が主導で行っていくこととなった。

16. 論文集の発行状況について審査状況（久保（光）前論文審査委員長）

久保（光）論文審査委員長より、論文集の発行状況の報告が

なされた。遅れている1月号と3月号については近日中に会員の手元に届く段階にあるとの報告がなされた。また、これらの論文集送付時に各賞受賞の公募に関する書類を同封することとなった。

17. 特集号の発行状況について（岡崎前学会誌編集・出版委員長）

岡崎前学会誌編集・出版委員長より、特集号の発行状況について説明がなされた。平成27年度分の残りの2号分の内容については、サービスデザイン（芝浦工業大学　古屋先生）と人口縮小社会（もうひとつの住まい方推進協議会　佐々木先生）とし、6月末に発刊を目指すとの報告がなされた。また、平成28年度分については、会員向けアーカイブ冊子（年2回発行）としてリニューアルを予定していたが、準備状況を鑑みて例年通りの特集号と同じ体裁で発刊する旨が説明された。その内容としては、子どものためのデザイン（拓殖大学　岡崎先生、発行目標：10月末）、創造性に関わるコンテンツ（北陸先端科学技術大学院大学　永井先生、発行目標：10月末）、デザイン学会アーカイブⅠ・Ⅱ（筑波大学　山中先生、発行目標：12月末）となった。

18.「デザイン学研究」web公開について（山中監査）

山中監査より、「デザイン学研究」web公開に関する今後の展開について報告がなされた。現在CiNiiとJ-Stageの両者にデザイン学研究が掲載されているが、今後、CiNii掲載分をJ-Stageへ移行していく手続きを進めているとの説明がなされた。

（記録：佐藤（浩））

平成28年度第2回理事会議事録

日時■平成28年5月7日（土曜日）
14：30～17：00
場所■慶應義塾大学　三田キャンパス（田町）
北館会議室3
出席者■松岡、國澤、小林、井口、内山、大島、岡崎、加藤、久保（光）、寺内、山中、山本、禹、佐藤（弘）、小野、佐藤（浩）
委任状出席■尾登
欠席■工藤

1. 会長挨拶

松岡会長より挨拶がなされた。

2. 平成28年度第1回理事会議事録の承認

平成28年度第1回理事会の議事録が示され、軽微な修正を除き、原案通り承認された。

【審議事項】

3. 名誉会員の決定（山中前会長）

今年度は候補者なしとの報告がなされ、承認された。

4. 平成28年度春季大会について（禹大会実行委員長）

禹大会実行委員長より、平成28年度春季大会の日程案、エクスカーション、基調講演、および特別講演等について詳細な説明がなされた。スケジュールについて、初日の基調講演を30分遅らせて14時30分開始となり、それに合わせて特別講演と移動の時間も30分ずらすこととなった。また、聴講者の人数を考慮して、最終日の「ポスターによる研究発表」とオーガナイズドセッション（C・D）を交換することとなった。なお、大会開催時期は他のイベントも重なるため、宿泊先を早めに確保していただきたいとのお願いもなされた。また、大会プログラムはJSSDホームページからダウンロードによる配布を行うこととなった。

5. 平成28年度春季研究発表大会概要集の編集状況について（田村前概要集編集委員長（代）佐藤（弘）本部事務局長）

佐藤（弘）本部事務局長より、5月6日時点での大会概要集の編集状況報告がなされた。口頭発表168件、ポスター発表105件となり、概要集の編集作業は85%完了しているとの説明がなされた。

6. 春季研究発表大会学生ワークショップについて（小林研究推進委員長）

小林研究推進委員長より、今年度の春季大会では学生交流ワークショッを行わないとの説明があり、承認された。

7. 春季研究発表大会テーマセッションについて（小林研究推進委員長）

小林研究推進委員長より、テーマセッションにおけるグッドプレゼンテーション賞の選抜方法について確認がなされた。

8. 平成28年度秋季企画大会について（小林大会実行委員）

小林大会実行委員より、平成28年度秋季企画大会のテーマについて説明がなされた。「デザインの理念」をテーマとし、芸術工学会、意匠学会、道具学会とともに開催する案が示された。松岡会長より、基礎デザイン学会の参画も打診できないかとの意見も挙がり、引き続き議論を進め、春季大会の懇親会で内容を紹介することとなった。

9. 平成 27 年度学会活動報告について（佐藤（弘）本部事務局長）

佐藤（弘）本部事務局長より、平成 27 年度学会活動報告について説明がなされた。総会において、名誉会員の候補者がいないことから、「名誉会員証贈呈」を削除することとなった。また、提出がなされていない委員会、支部、および部会へは 15 日までに事務局まで提出していただくこととなった。

10. 平成 28 年度学会活動方針について（佐藤（弘）本部事務局長）

佐藤（弘）本部事務局長より、平成 28 年度学会活動方針について説明がなされた。組織における魅力向上委員会の追加、学会各賞選考委員会の活動計画の削除が確認された。提出がなされていない委員会、支部、および部会へは 15 日までに事務局まで提出していただくこととなった。また、報告や計画のない研究部会については、研究推進委員会で確認していただき、対処について議論していくこととなった。

11. 平成 28 － 29 年度学会組織の各委員会幹事について（佐藤（浩）本部副事務局長）

佐藤（浩）本部副事務局長より、平成 28 － 29 年度学会組織の各委員会幹事について説明がなされた。幹事の推薦がなされていない委員会や支部については佐藤（浩）が各委員長と支部長に確認を行うこととなった。また、山中敏正監査を運営理事会名簿から削除することとなった。

12. 法人化について（國澤法人化特別委員長）

國澤法人化特別委員長より、法人化についての現状報告がなされた。法人化に関する情報を JSSD のホームページ上で公開を開始していると説明がなされた。また、5 月 20 日までに総会案内、議案の説明（報告、決算審議、活動計画、予算案審議、会則変更、法人化解散、定款、規定等）、委任状等一式の作成を完了し、順次会員に向けて発送することとなった（学会員の返信締切は 6 月 10 日着）。

13. タイムアクシスデザイン研究部会の発足について（小林研究推進委員長）

小林研究推進委員長より、タイムアクシスデザイン研究部会の発足について説明がなされ、承認された。また、平成 28 年度の活動報告を作成することとなった。

14. 魅力向上委員会について（松岡魅力向上委員長）

松岡魅力向上委員長より、魅力向上委員会において議論を進めている今後の特集号と論文集について説明がなされた。次年度の特集号についてはデザイン学を中心とした内容を補填し、100 号の区切りまで刊行する提案がなされ、承認された。また、今後の論文集について、現状に近いかたちで英文と和文を分けて再構築する形態が提案され、その方向性で進めていくことが承認された。その際、久保前論審委員長と論文審査委員会を中心に、名称、費用面、論文募集方法、および出版方法等を検討していくこととなった。

15. ホームページ更新状況とその対応について（内山広報委員長）

内山広報委員長より、ホームページ更新状況について説明がなされた。WordPress の最新バージョンへの更新、法人化の説明資料の掲載等について説明がなされた。今後は、各支部・部会に最新の情報を掲載して頂くように使用方法等について積極的に発信していくとの説明がなされた。また、次回の理事会では、ホームページの各ページの更新担当者を明確にするため、ページとその担当者（部署）案を作成することとなった。さらに、ホームページ上の情報を一次情報とする運用方法や書籍の広告掲載についても検討していくこととなった。

16. 会員の移動について（佐藤（浩）本部副事務局長）

事務局に提出された書類を回覧・審議した結果、

入会：正会員 11 名（内外国人 2 名）、学生会員 33 名（内外国人 5 名）

休会：正会員 1 名

退会：正会員 1 名、学生会員（外国人）1 名

が承認された。

17. JABEE 会員継続について（佐藤（弘）本部事務局長）

佐藤（弘）本部事務局長より、近年の状況を鑑みて、平成 28 年度は JABEE 会員の継続を行わないことが提案され、承認された。

【報告事項】

18. 論文集の発行と審査状況について（寺内論文審査委員長）

寺内論文審査委員長より、論文集の発行と審査状況について報告がなされた。今月 13 件の投稿があり、英文論文が 7 本ストックされているとの説明があった。英文によるデザイン学研究の発行は数が揃った時点で行っていくとの報告がなされた。また、J-Stage での閲覧が学会員に限らず閲覧できる状態になったとの説明がなされた。

19. 特集号の進捗について（井口学会誌編集・出版委員長）

井口学会誌編集・出版委員長より、特集号の進捗について報

告がなされた。5 月刊行予定の原稿がないため、山中敏正先生の「日本デザイン学会 60 年の記録（仮）」を充てることとなった。

20. 作品集の準備状況について（須永作品審査委員長（代）小林前作品審査委員長）

小林前作品審査委員長より、作品集の準備状況について報告がなされた。日程は昨年と同様に行い、今後は、受付のメールアドレスの設定、チラシ作成、および web への情報掲載を行っていくとの説明がなされた。

21. 次回運営会議（6/4）の議題について（佐藤（弘）本部事務局長）

佐藤（弘）本部事務局長より、以下の議題案が提示された。

【審議事項】

1. 春季大会全体プログラムについて（禹大会実行委員長）
2. 春季大会口頭発表・ポスター発表プログラムについて（田村前概要集編集委員長）
3. 総会資料について（佐藤（弘）本部事務局長）
4. 次年度春季大会について（岡崎大会実行委員）
5. 法人化について（國澤法人化特別委員長）
6. 魅力向上活動について（松岡魅力向上委員長）
7. ホームページ更新状況について（内山広報委員長）
8. 組織案の修正について（佐藤（浩）本部副事務局長）
9. 決算について（佐藤（弘）本部事務局長）
10. 会員の移動について（佐藤（浩）本部副事務局長）
11. その他

【報告事項】

12. 論文集の発行と審査状況について（寺内論文審査委員長）
13. 特集号の進捗について（井口学会誌編集・出版委員長）
14. 会報の状況について（井口学会誌編集・出版委員長）
15. その他

（記録：佐藤（浩））

平成 28 年度第 3 回理事会議事録

日時■平成 28 年 6 月 7 日（土曜日）
14：30 ～ 17：00
場所■慶應義塾大学　三田キャンパス（田町）
北館会議室 3
出席者■松岡、國澤、小林、井口、大島、岡崎、久保（光）、田村、寺内、須永、山中、禹、佐藤（弘）、小野、佐藤（浩）
委任状出席■内山、尾登、山本、加藤
欠席■工藤

1. 会長挨拶

松岡会長より挨拶がなされた。

2. 平成 28 年度第 2 回理事会議事録の承認

平成 28 年度第 2 回理事会の議事録が示され、原案通り承認された。

【審議事項】

3. 平成 27 年度決算について（小野本部副事務局長）

小野本部副事務局長より、平成 27 年度決算について説明がなされ、承認された。

4. 平成 28 年度予算案について（小野本部副事務局長）

小野本部副事務局長より、平成 28 年度予算案について説明がなされた。論文集の電子化完全移行等により、例年と比較すると約 500 万円余るとの報告がなされ、この予算は常設基金として計上し、法人化や魅力向上に掛かる費用にあてることが承認された。

5. 平成 28 年度春季大会について（禹大会実行委員長）

禹大会実行委員長より、平成 28 年度春季大会の準備状況について説明がなされた。ホームページへのプログラム掲載と大会パンフレット作成が完了し、5 月 30 日時点での参加申込人数 258 名、懇親会参加人数 84 名、エクスカーション A 参加人数 5 名、エクスカーション B 参加人数 14 名との報告がなされた。大会パンフレットは一部修正を行い、エクスカーション参加募集を追加で行うこととなった。

6. 平成 28 年度春季研究発表大会口頭発表・ポスター発表プログラムについて（田村前概要集編集委員長）

田村前概要集編集委員長より、グッドプレゼンテーション賞

の審査方法について確認がなされた。また、選考会の場所を開催校の方で準備することとなった。

7. 春季大会 OS 経費に関して（佐藤（浩）前総合企画幹事）
佐藤（浩）前総合企画幹事より、平成 28 年度春季大会 OS 経費について説明がなされた。OS の B と C のオーガナイザーより経費の申請があったことが報告され、これらについて承認された。また、禹大会実行委員長より、OS の A と D についても経費申請を予定しているとの申し出があり、後日、佐藤（浩）まで連絡することとなった。

8. 総会式資料について（佐藤（弘）本部事務局長）
佐藤（弘）本部事務局長より、総会式資料作成状況について報告がなされた。平成 27 年度学会活動報告と平成 28 年度学会活動計画がまだ提出されていない支部や部会へは、6 月 12 日までに送付していただく旨をメールにて催促することとなった。

9. 平成 29 年度春季大会について（岡崎大会実行委員）
岡崎大会実行委員より、平成 29 年度春季大会の準備状況について説明がなされた。開催日案として、6 月 30 日（金）、7 月 1 日（土）と 2 日（日）の 3 日間が挙げられた（総会は 30 日に行う予定）。会場は、文京キャンパスとし、引き続き準備を進めていくこととなった。

10. 法人化について（國澤法人化特別委員長）
國澤法人化特別委員長より、総会に向けた準備状況について説明がなされた。案内状と委任状の準備が完了次第、従来と同じ方式で会員に向けて送付することとなった。また、法人化に関する詳細の情報はホームページを見ていただくように法人化サイトの URL を案内状に記載しているとの説明がなされた。

11. ホームページの更新状況について（松岡会長）
松岡会長より、ホームページの更新について、春季大会までに役員と組織を最新の状態に更新してほしいとの要望が示された。この対応は、広報委員会の方で行うこととなった。

12. 組織案の修正について（佐藤（浩）本部副事務局長）
佐藤（浩）本部副事務局長より、組織案の修正版が提示され、承認された。

13. 2016 年度作品集 作品募集要項（案）の提案（須永作品審査委員長）
須永作品審査委員長より、2016 年度作品募集要項案について説明がなされた。告知用募集要項の作成が完了し、web サイトの改訂も合わせて行い、今後会員に向けて募集していくこととなった。

14. 研究推進委員会について（小林研究推進委員長）
小林研究推進委員長より、法人化にともなう研究部会への連絡事項案が示された。今後、この案を精査していくとともに、活動実績がない研究部会の扱いに関して議論を進めていくこととなった。

15. 魅力向上委員会について（松岡魅力向上委員長）
松岡魅力向上委員長より、新しい英文誌の形態について提案がなされた。当面の間は査読システムやプロセスは現状のままとし、発行の際に現行のデザイン学研究と別名英文誌の 2 種類の論文集に分ける案の説明がなされ、承認された。また、現行の『デザイン学研究（Bulletin of Japanese Society for Science of Design）』の名称は維持、英文誌名は『Journal of the Science of Design』とするとの説明がなされ、承認された。今後は、両冊子発行に向けた具体的な手続きの検討を引き続き行っていくこととなった。

16. J-STAGE への特集号掲載について（佐藤（弘）本部事務局長）
佐藤（弘）本部事務局長より、J-STAGE への特集号掲載に向けた準備状況の説明がなされた。現在、J-STAGE へ申請段階にあり、申請書の必要事項を記入して 6 月中に提出する予定であるとの報告がなされた。

17. 会員の移動について（佐藤（浩）本部副事務局長）
事務局に提出された書類を回覧・審議した結果、
入会：正会員 11 名（内外国人 2 名）、学生会員 39 名（内外国人 2 名）
休会：正会員 1 名
退会：正会員 3 名、学生会員 2 名
が承認された。

18. 平成 28 年度秋季企画大会について（小林大会実行委員）
小林大会実行委員より、平成 28 年度秋季企画大会の準備状況について説明がなされた。テーマはデザインの哲学で準備を進めており、学生プロポジションの開催形式を今後検討していくとの報告がなされた。

【報告事項】

19. 論文集の発行と審査状況について（寺内論文審査委員長、佐藤（浩）論文審査委員）
佐藤（浩）論文審査委員より、5 月に採択された論文数 7 件、

新規投稿論文数 5 件との報告がなされた。引き続き、期日を厳守した審査を進めていくとの説明がなされた。

20. 特集号の進捗について（井口学会誌編集・出版委員長）
井口学会誌編集・出版委員長より、山中敏正先生の「日本デザイン学会 60 年の記録（仮）」の原稿が正文社に入稿完了との報告がなされた。また、古屋先生担当分と佐々木先生担当分を入れ替えての発刊を検討しているとの説明がなされた。

21. 会報の状況について（井口学会誌編集・出版委員長）
井口学会誌編集・出版委員長より、今後、会報担当の委員を選出して準備を進めていくとの報告がなされた。

22. JABEE 退会について（佐藤（弘）本部事務局長）
佐藤（弘）本部事務局長より、JABEE の退会が完了したとの報告がなされた。

23. 学会各賞の推薦について（久保学会各賞選考委員長）
松原事務局員より、事務局宛に学会各賞の推薦が 2 件あったとの報告がなされた。

（記録：佐藤（浩））

自動引き落とし手続きのお願い

当学会では，会費の自動引き落としが義務付けられております．すでに，半数以上の会員の方にご利用いただいておりますが，まだ登録がお済でない会員の方は，登録手続きをされますよう，お願い申し上げます．また，口座引き落とし依頼書がお手元にない方は，本部事務局へご請求ください．

本部事務局

タイムアクシスデザイン研究部会活動報告

平成28年7月8日（金）、慶應義塾大学矢上キャンパス14棟を会場として、日本デザイン学会 タイムアクシスデザイン研究部会の2016年度活動：「デザイン塾：タイムアクシスデザインの枠組みづくりに向けて」が開催されました。本活動は、タイムアクシスデザイン研究部会、日本設計工学会 タイムアクシスデザインに関する研究調査分科会、日本機械学会 タイムアクシスデザイン研究会の共催により行われました。本塾は、「タイムアクシスデザインに関する講演」（第1部）、「タイムアクシスデザインの枠組みに関する座談会」（第2部）、の2部構成で開催されました。

第1部においては、慶應義塾大学加藤健郎専任講師の司会で、慶應義塾大学の松岡教授、武蔵野美術大学の小林教授、千葉工業大学の佐藤教授による講演がなされました。松岡教授からは、「タイムアクシスデザインへの誘い」というタイトルで、タイムアクシスデザインの概要や重要性などについてお話しがありました。続いて小林教授からは、「タイムアクシスデザインへの期待」というタイトルで、いくつかのデザイン作品を例に、意味の時間変化やそれによる価値の成長などについてお話しいただきました。佐藤教授からは、「デザイン評価の時間軸と普遍性」というタイトルで、グッドデザイン賞の評価における時間軸の概念の必要性や重要性について話をしていただきました。

第2部では、東京大学の梅田教授、首都大学東京の下村教授、慶應義塾大学の西村教授、イリノイ工科大学の佐藤教授、千葉大学寺内の5件の講演がなされました。まず、梅田教授から、「タイムアクシスデザインの枠組み作りに向けてどう切り込んで行くか？」というタイトルで日本機械学会のタイムアクシスデザイン研究会の活動方針についての説明がありました。ついで下村教授から「製品サービスシステムのタイムアクシスデザイン」というタイトルで、時間軸で変化するコンテキストアーキテクチャとそれを用いたサービスデザインを紹介して頂きました。さらに、西村教授は「System of Systems アーキテクチャの進化に対応したマネジメント」というタイトルで、時間軸で変化するシステムアーキテクチャに対する取り組みの事例を解説して頂きました。佐藤教授からは「時間を通してデザインを考える」というタイトルで、時間軸を考慮したHuman Systems Integrationについて、研究事例をご紹介頂きました。寺内は「材料に着目した時間に伴う質感変化の試み」というタイトルで時間軸の概念を用いたマテリアルデザインの事例を紹介させて頂きました。講演後の質疑では、会場からは多くの質問がなされ、活発な議論が行われました。

その後、タイムアクシスデザインやデザイン科学に関する研究や作品（全6件）のポスター発表と並行して懇親会も開催され、盛況のうちに終了いたしました。

本活動においては、デザインに関わる研究・教育者の方々（経済産業省、秋田大学、イリノイ工科大学、大阪大学、慶應義塾大学、首都大学東京、千葉大学、千葉工業大学、東京大学、北陸先端科学技術大学、武蔵野美術大学）実務者の方々（アイポイント、一（いち）、NEC、川崎重工、キヤノン、昭和電工、ソニー、大日本印刷、デプロ、南条装備、ニコン、日本発条、日立、富士通、富士電機、堀場製作所、マツダ、三菱重工、三菱総合研究所、渡辺設計）、学生を含む約80名の方にお越しいただき、タイムアクシスデザインの意義や可能性について活発な議論が行われました。

（主査　寺内文雄）

松岡由幸教授による講演の様子

小林昭世教授による講演の様子

佐藤弘喜教授による講演の様子

パネルディスカッションの様子

ポスター発表＆懇親会の様子

会員の移動

◆平成 27 年度第 7 回理事会承認　2016.02.13

新入会

正会員 7 名（内海外会員 2 名）

荒川　昭広　石田　聖次　岩瀬　大地　玉野　哲也
藤澤　亜子　洪　碩延　Hani Zgheib

学生会員 10 名（内海外会員 7 名）

阿部　美月　影山　友章　宮地　英和　張　暁帆
江　品萱　沈　威廷　胡　睿文　林　暄能
陳　長逸　呉　世興

退会

正会員 13 名

石倉　正　上野　義雪　櫻井　宏　杉山　明博
中川　重年　羽田　安秀　広川美津雄　藤岡　洋智
三井　康弘　八代美智子　柳川　裕太　山口まち子
吉田　恵介

年間購読会員 1 件

（株）ウィズ・ケイ

◆平成 27 年度第 8 回理事会承認　2016.03.19

新入会

正会員 10 名

池田　尚義　狩野　菖　加悦　秀樹　橋倉　誠
牧野　純也　政倉　祐子　松前あかね　松本　正富
保井　康佑　山下　健

学生会員 6 名（内海外会員 4 名）

神野　聡　橋口　恭子　王　健　張　琳雅
梁　文禎　Pandu Purwandaru

退会

正会員 23 名（内海外会員 1 名）

石崎　友紀　梅沢　芳光　大箸　純也　尾崎　公彦
菅野　洋介　狐塚　康己　近藤　誠造　紺谷美沙都
三枝　茂　佐々木　宏　品川　誠　関　哲洋
高山　英樹　徳田　泰昭　中山　順　林　宏剛
深谷　基弘　藤家　馨　本沢　優佳　山田　和紀
和田　眞爾　和田　紀彦　孫　旻愷

賛助会員 1 件

アイリスオーヤマ（株）

◆平成 28 年度第 1 回理事会承認　2016.04.19

新入会

正会員 16 名

浅野　晃　池田　泰教　磯谷　周治　井上　智史
岩崎　敏之　五十殿利治　片岡　竜成　片山　徹也
北　雄介　小松﨑里恵　高木　由典　塚田　勝之
仲谷　尚郁　平尾　章成　松下　臣仁　三原　宏和

学生会員 22 名（内外国人 6 名）

影山　友章　木村　圭汰　倉田　晃希　桑田　奈々
柴田　直也　杉本　昇吾　洲崎　宏輔　千田　真司
高木　拓哉　髙橋　徹　高山　翔矢　古野真菜実
堀田　蕗敏　松尾　友絵　吉長　知里　吉田　傑
姜　超　金　聖和　洪　昇完　馬　慈均
唐　英嘉　ディン・ウェイ

休会

正会員 1 名

石井　明

退会

正会員 11 名

浅井　豊樹　稲蔭　正彦　宇野　卓也　大森　峰輝
岡﨑　敏郎　坂口　善英　酒寄　映子　佐藤　光輝
高田　玲子　日吉　洋人　宮崎　英治

学生会員 7 名

石﨑日菜子　伊藤　弘基　今泉　修　齋藤　優太
平　翔　武田　孝太　皆川　伸吾

◆平成 28 年度第 2 回理事会承認　2016.05.07

新入会

正会員 11 名（内海外会員 2 名）

麻生　典　今井　和哉　大山　修平　金谷　英枝
新垣　紀子　田中　里佳　舩山　俊克　丸山　素直
山本　祐輔　陳　彦甫　Zhong Wei

学生会員 32 名（内海外会員 5 名）

足立　優奈　石井　恭介　伊藤　夏海　大石　遊
加藤　頌健　兼子　亜弓　木内　良祐　北﨑　太介
北田　彩香　木下　誠子　齋田　萌　酒匂　一世

新宅　弘明　　鈴木　智美　　中司智朱希　　辻井　温子
土田　佳歩　　丹羽みずほ　　浜松　伸弥　　前田真里奈
松尾　俊基　　松下　俊介　　松元　真菜　　宮﨑　御夫
森本　早智　　安田　創　　山根　生也　　王　寧
孟　晗　　李　恩敬　　孫　澤
Lira Anindita Utami

退会
正会員 2 名
志甫　雅人　　島森　功

◆平成 28 年度第 3 回理事会承認　2016.06.04
新入会
正会員 12 名
青沼　優介　　五十嵐七果　　今村　春歩　　楠本　幸裕
朽木　順綱　　向坂　文宏　　髙橋　浩伸　　谷山　拓治
中島　郁子　　二井　進　　對馬　隆介　　和田　両磨

学生会員 44 名（内海外会員 4 名）
市川　毅　　井上謙太朗　　岩﨑　奨吾　　内田　哲人
大月　雄介　　小野寺夏海　　梯　絵利奈　　梶田　航一
加藤　怜　　鎌田　莉佳　　亀坂瑠里子　　北﨑　太介
郡　祐太郎　　小中　大地　　三野宮定里　　治部　晶子
鈴木　晴子　　田中　角栄　　田中　大貴　　田中　里穂
高橋　真央　　高橋　祐亮　　高原　慶伍　　津田井美香
土田　佳歩　　土田ひかり　　徳永　唯香　　永田　翔香
中西　織恵　　中西菜穂子　　長野　彩乃　　中野　颯
西本　奈央　　深津　成美　　藤田　茂　　水谷みなも
三谷　悠　　山内　暢人　　弓場　大夢　　吉田　茉由
王　怡文　　楊　金融　　李　超　　楊　寧

住所変更はお済みですか？

住所不明で戻ってくる郵便物が
増えております．
住所変更は確実にお願いします．
届出は文書にてお願いします．
転居される方は，FAX または
「デザイン学研究特集号」の巻末に
綴じ込まれている「入会届け」に
朱書きで「変更届け」と書き添えて，
事務局までご連絡ください．
ホームページ
http://jssd.jp/files/change_regular.pd にも
様式が掲載されておりますので
ご利用ください．
退会等の届出も必ず文書にて
お願いします．　　本部事務局